



長野県議会広報
第169号
こんにちは

発行／長野県議会 編集／長野県議会広報委員会

県議会

【党派等議員数】

定数	57人
自由民主党県議団	24人
改革・信州	13人
新政策議員団	7人
公明党長野県議団	5人
日本共産党県議団	5人
無所属	2人
現員	56人(欠員1人)
(令和7年11月1日現在)	



令和7年9月定例会(9月25日～10月10日)の概要

知事から令和7年度一般会計補正予算案などの議案が提出されました。本会議での一般質問(33名)や委員会審査では、障がい者の活躍推進や人権尊重・多文化共生など、様々な課題について活発に議論しました。

審議の結果、今般改定した「長野県物価高騰・米国関税措置支援パッケージ2.0」に基づき、賃上げ環境の整備やスタートアップ支援の強化に取り組むとともに、ツキノワグマ対策の抜本的強化など、県民生活の安全・安心の確保等に必要な予算を盛り込んだ総額74億6,322万円の令和7年度一般会計補正予算案など25件を原案どおり可決、同意し、令和6年度長野県一般会計及び特別会計の決算の認定など2件を継続審査としました。

議員提出議案は、提出された10件の意見書案全てを可決しました。

可決した議員提出議案一覧

意見書は国に提出し、実現を求めました。

- ・私学助成の一層の拡充を求める意見書
- ・地域における食肉流通体制の維持を求める意見書
- ・地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書
- ・上下水道管の老朽化対策の更なる推進を求める意見書
- ・療育手帳制度の運用の統一化を求める意見書
- ・持続可能な地域医療体制の確保に向けた支援の強化を求める意見書
- ・高等学校授業料無償化制度の拡充を求める意見書
- ・危険鳥獣による被害防止対策の更なる充実を求める意見書
- ・違法な生活保護費減額による被害の速やかな回復を求める意見書
- ・米の安定供給に向けた取組の強化を求める意見書



議員提出議案

本会議での主な審議

Q・・・議員の質問質疑

A・・・知事・部長等の答弁

議論1 障がい者の活躍推進



Q 11月に日本で初めて開催される「東京2025デフリンピック」に、県としてどう関わり、どのように支援していくか。

＊きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック

A 8月には、県内出場選手も加わったキャラバン隊の歓迎セレモニーを県庁で行い、手話で応援の気持ちを伝えるための講座を実施した。また、トップレベルのアスリートを育成するため、合宿参加や大会出場等の支援を行うほか、スタート合図を光で伝える装置を購入するなど、スポーツ実施環境の整備に努めている。今後もスポーツを通じて障がいのある人もない人も互いに尊重し認め合う共生社会の実現に努めていく。

Q 障がい者雇用を促進するために、どのような取組をしているか。

A 企業とのマッチングに向けては、地域就労支援センター(Jobサポ)において「Jobサポおしごと相談会」を県下各地で開催するほか、本人の希望や特性を尊重した伴走型就業支援や、就職後のフォローによる定着支援を行っている。また、今年度は、障がい者を初めて雇用した企業に対する助成金の拡充等を行った。今後も、関係機関と連携し、これらの取組を一体的に実施して、希望する障がい者が一人でも多く就職に結びつくよう取り組んでいく。

議論3 地域公共交通・交通安全対策



Q 不採算とされたバス路線の運行見直しが行われているが、地域公共交通の維持に向けて、どのような支援を行うか。

A 県が主体的に関与する新たな支援策である「信州型広域バス路線支援制度」では、運行経費や運転手の処遇改善等を支援するとともに、県がバス車両を購入して貸与する「県有民営バス」制度の県の負担額の引上げを行うこととしており、事業者からも一定の評価をいただいている。木曽地域で運行が始まった「きそバス」も支援対象となる見込みであり、こうした取組を全県で展開していきたい。

Q 若者の自転車事故が多くなっているが、高校生にヘルメットを着用してもらうため、どのような取組をしているか。

A 自発的にヘルメットを着用する気運を高めるため、今年度から県内の高校で、スタントマンが交通事故を目の前で再現する自転車交通安全教室を実施している。実施後のアンケートでは、多くの生徒が「ヘルメットを着用しようと思った」と回答したほか、教員がヘルメット着用の注意喚起を行うようになるなど、一定の効果が出ている。こうした効果的な取組を広げていくとともに、県警察等と連携しながら自転車の安全利用を推進していく。

議論2 人権尊重・多文化共生



Q 現在検討を進めている「長野県人権尊重の社会づくり条例(仮称)」を、実効性のある仕組みに育てるため、どのような展望を持っているか。

A 条例の理念や具体的な内容を、県民と広く共有することにより人権への理解を深めてもらうほか、専門家による支援につなげるなど実効性のある内容にしていけることが必要と考えている。加えて、様々な分野の行政を担う県として、人権尊重という視点をしっかりと意識しながら施策の推進に当たっていきたい。

Q 日本語教室を立ち上げる自治体や民間団体に対し、支援を強化すべきではないか。

A 県では、地域にある日本語教室に対して運営補助を行っているが、本事業を地域の実情に合わせてより柔軟に活用してもらうため、本年度から補助要件の緩和を行った。また、オンライン日本語教室の実施に向けた準備を進めており、利用者の利便性向上と負担感の軽減に努めている。今後も、利用者のニーズをくみ取りながら、地域の日本語教室の充実を目指していく。

議論4 学びの環境づくり



Q 県では、多様性を包み込む学びの環境をどのようにつくっていくか。

A 学校では外国籍や外国由来の子ども、特性の強い子どもといった様々な背景を持つ子どもが学んでおり、そうした多様性を包み込むための学びの環境をつくることは大変重要である。今後は、ウェルビーイング実践校TOCO-TON*で具体的なあり方を示し、取組が進むように支援するほか、多様な子どもたちが共に学ぶ学習集団の少人数化や効果的な教員の加配、外国籍児童生徒への支援などについても幅広く検討していく。

＊一人ひとりに合った学びを実践する学校

Q ICTを活用した教育の取組状況と、その成果はいかがか。

A 県では、児童生徒がICTを主体的に活用し、それぞれのペースや方法で学習を進めたり、考えを広げたりできるよう、教員の指導力向上に取り組んできた。児童生徒への調査でも、約8割が「ICT機器を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」と回答している。今後は、ICTでは代替できない「五感を伴う直接体験」と、ICTを活用した学びの効果的な関係性についても研究していく。

常任委員会の活動

各委員会では、9月定例会において、付託議案、所管事項に関する質疑等及び請願・陳情の審査を行いました。各委員会の委員長報告は、県議会ホームページでご覧いただけます。また、議会の閉会中には、県の現地機関の調査、企業や団体等の視察、関係者との意見交換などを行っています。



総務企画警察委員会



- 【主な質疑事項等】
- ・自然災害に備えた警察の対応について
 - ・県の本曾広域連合への参画について
 - ・乗合バス路線の維持・確保に対する支援について

現地調査(8月27日～28日 中信・南信)
本曾警察署など現地機関の調査や、自動運転移動サービスなどの視察を行いました。



塩尻市振興公社の視察

県民文化健康福祉委員会



- 【主な質疑事項等】
- ・長野県人権尊重の社会づくり条例(仮称)について
 - ・周産期医療体制の見通しについて
 - ・就労を通じた障がい者の自立支援について

現地調査(8月7日～8日 東信・北信・中信・南信)
長野県立歴史館など現地機関の調査や、介護老人福祉施設などの視察を行いました。



長野県立歴史館の調査

産業観光企業委員会



- 【主な質疑事項等】
- ・持続的な賃上げ環境の整備について
 - ・宿泊税活用計画(仮称)について
 - ・県営水道条例の一部改正案について

現地調査(8月25日～26日 東信・北信)
佐久地域振興局の調査や、長野県よろず支援拠点などの視察を行いました。



長野県よろず支援拠点の視察

農政林務委員会



- 【主な質疑事項等】
- ・多様な担い手の確保について
 - ・農地集積に向けた取組について
 - ・ツキノワグマ対策について

現地調査(9月8日～9日 北信・中信)
北アルプス地域振興局など現地機関の調査や、北信食肉センターなどの視察を行いました。



県営土地改良事業の調査

危機管理建設委員会



- 【主な質疑事項等】
- ・特定都市河川の指定に向けた取組について
 - ・建設産業における多様な人材の確保について
 - ・消防団員アンケート調査結果の活用について

現地調査(9月1日～2日 中信・南信)
松本建設事務所など現地機関の調査や、駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアムの視察を行いました。



駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアムの視察

環境文教委員会



- 【主な質疑事項等】
- ・県立高校の再編について
 - ・幼保小連携の推進について
 - ・長野県ゼロカーボン戦略の中間見直しについて

現地調査(8月18日～19日 中信・南信)
上伊那農業高校など現地機関の調査や、脱炭素に向けた官民協働の取組などの視察を行いました。



上伊那農業高校の調査

最近の議会の取組 長野県議会では、県民に身近で開かれた議会となるよう、様々な活動に積極的に取り組んでいます。

○聴覚障がい当事者団体との意見交換会を実施しました

9月11日に、議長、副議長、広報担当の議員が、長野県聴覚障害者協会と信州難聴者協会の皆さんと「障がいに対する理解と暮らしやすい地域づくりに向けた施策について」をテーマに意見交換を行い、音声で案内が行われている施設を利用する際の不便さなどが話題となりました。

こうしたご意見を踏まえ、9月定例会の委員会では、二次元バーコード等を使用して美術館や博物館の展示品の内容を知ることができる取組の推進や、飲食店等における音声以外の案内の充実などについて意見が出されました。これを受け、県からは、関係者と課題を共有して誰もが住みやすい社会づくりに取り組んでいきたいとの答弁がありました。



○少子化・人口減少対策調査特別委員会を開催しました

10月9日、社会課題について考え、政策を立案・発表する「政策甲子園」に出場した長野高校と長野吉田高校の生徒を招き、若者の県内定着を実現するアイデアについて意見発表をしていただきました。委員からは、「議員も考え付かない斬新な提案に敬意を表する」、「東京に憧れる若者の率直な意見が聴けて良かった」といった感想がありました。



○高校生との意見交換会を実施します

開催日：令和7年12月15日(月)
開催場所：長野県庁 議場及び講堂
内容：長野県高等学校長会主催の「生徒が主体性を育む交流会」に参加した高校生が、地域活性化や地域交通などについて議場で発表を行うとともに、発表したテーマについて議員と意見交換を行います。

※詳細については、後日県議会ホームページで公表します。



11月定例会日程

【会期16日間】

- ▽11月27日(木) 開会
- ▽12月2日(火)～12月5日(金) 一般質問及び質疑
- ▽12月8日(月)～12月10日(水) 各委員会
- ▽12月11日(木) 総務企画警察委員会
- ▽12月12日(金) 閉会

議会活動の情報を発信しています。ぜひご覧ください。



県議会ホームページ

インターネット中継もやっています！



県議会X

議会の傍聴にぜひお越しください。各種サービスはこちらから。



託児サービス



手話通訳・要約筆記

「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。

お問い合わせ

議会の傍聴について 総務課 ☎026-235-7411
請願・陳情について 議事課 ☎026-235-7413
議会の広報について 調査課 ☎026-235-7414